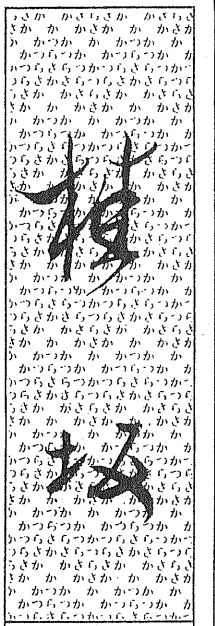


「スーパー イズミヤ」建設についての説明会 開催

8月10日(日) 午前10時~12時

ふれあい会館第1研修室において



19970726
[9703]
総43号
発行
桂坂
自治連合会
広報編集部

イズミヤの建設出店問題に
関し、去る六月三〇日、大店
法第3条に基づく届出を京都
府商工労働部及び京都市経済
局商業貿易課に対し提出、受
理され、着工に向けての準備
が整った旨の連絡を受けまし
た。

その後、イズミヤでは、桂
坂周辺一帯の道路で交通の実
態を調査する等、平成一〇年
秋の開店を目指し、鋭意努め
ているとのこと。

つきましては、この建設出
店計画に関して、地元への説
明会を開催してほしい旨、申
し入れを行ってまいりましたと
ころ、次のおり回答を得まし
たので、開催致したいと存じ
ます。

学区の皆様のご来場
をお待ち申し上げます。

出席者は、

イズミヤ株式会社
店舗開発部担当部長
山内 敬氏

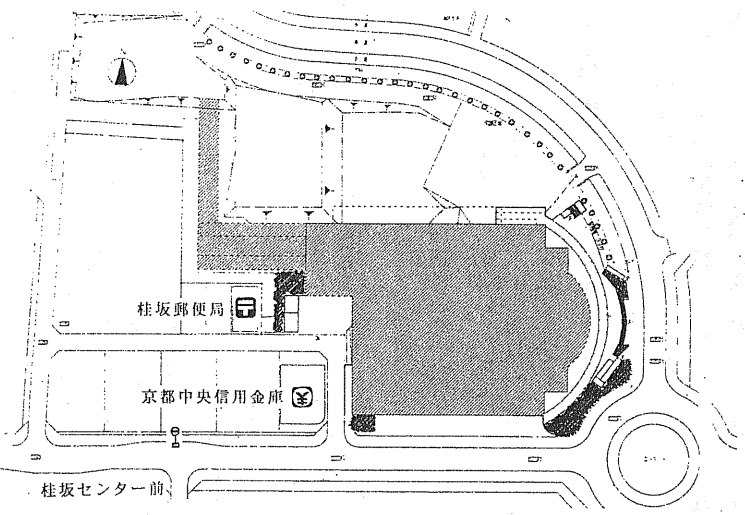
なお、出店計画書の一部を
抜粋しますと、

(1) 基本理念

桂坂地域の皆様の日常の利
便性、快適性を高め、地域
文化の向上に寄与すると
ともに、桂坂野鳥園等周辺の
環境にマッチした地域の街
づくりの核となる商業施設
を目指す。

(2) 計画の基本方針

「自然、文化との調和」を
テーマとした都市空間の形



成。

① 地域における暮らしの拠
点的役割を果たせるよう
日常生活の利便性の飛躍
的向上に寄与します。

② 地域コミュニティの一員
としての自覚のもと、地
域の皆様方が気楽に集え
る施設づくりに努力しま
す。

③ 落ち着いた雰囲気のある、
清潔な、新鮮味を帯びた
元気あふれたショッピング
ゾーンの演出に心がけ
ます。

このことで、大いに期待して
おります。

桂坂自治連合会

かねてから、桂坂にロー
ドスイーパー(路面清掃車)
の導入につき京都市に要請
をしておりましたところ、
この程、野村西京土木事務
所長から、下記の要領で実
施する旨の回答がございま
す。路上駐車禁止となりま
すのでご協力ください。

(4) 今後の

作業日程

毎月一回、下旬
に「路上清掃」

記

(1) 日時
七月三〇日(水)

午後一時~五時頃まで

(2) 実施箇所

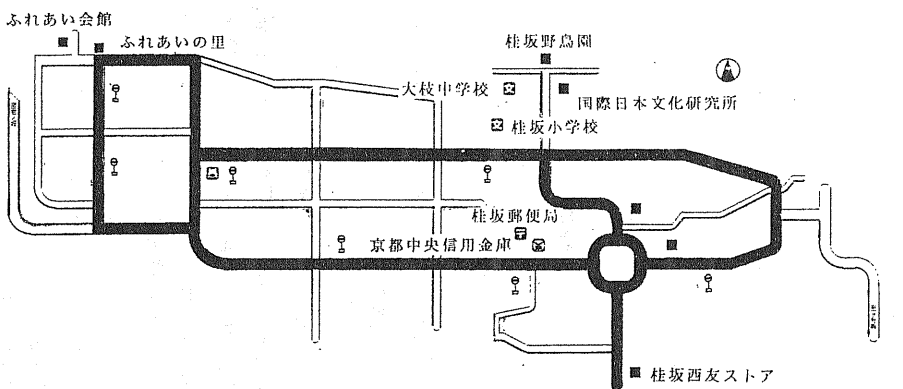
9号線「国道沓掛口」よ
り「桂坂口」に至る道路
並びに桂坂主要幹線道路
(下記図面の黒い太線)

(3) 留意事項

車輛等の路上駐車がある
と作業ができません。違
法駐車をしないでくださ
い。

桂坂の幹線道路に
路面清掃車が入ります
まず 7月30日

桂坂自治連合会



かえて自治会
あかしあ自治会
「府環境保全功労者」として
表彰さる

去る六月二十八日に京都テルサ
(南区)で開催された「地球温暖化
防止府民の集い」において、桂坂の
二つの自治会が京都府の「環境保全
功労者」として表彰されました。

「かえて」「あかしあ」の両自治
会とも、設立の当初から「環境の保
全」を自治会活動の大切な目標の一
つに掲げ、率先して地域の清掃活動
を進めてきました。

一二月に開催される「地球温暖化
防止京都会議」を前に、この度、同
じ「洛西の河川を美しくする会」と
ともに、「グリーン・リサイクル」
「環境美化」部門でその功労を称え
られたものです。

西洋環境開発(株)の

桂坂の街づくり

建設大臣 表彰

西洋環境開発(株)はこの六月、「恵
まれた自然環境と調和のとれた計画
に基づき、良好な居住環境を形成す
るために地区計画及び建築協定を導
入し、良質な住宅の供給及び良好な
景観形成に貢献した」功績によって
建設大臣より表彰されました。

この「桂坂」の開発に際しては、
マスタープラン策定の段階より京都
にゆかりのある有識者や地元の人た
ちの意見を聞き、様々な角度から検
討がされました。

例えば、です。この丘陵地帯には
六、七世紀に起源をもつ「大枝山古
墳群」があり、当然、次代に引き継
ぐべき文化遺産です。この点に配慮

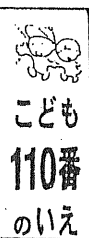
ふれあいの里 療護園 主催

夏祭り

8月3日(日)
午後4時~8時
ふれあい広場

模擬店・盆踊り・ジャ
ズバンド・フリーマー
ケット、など

子ども一〇番の家に
みどりのステッカー
あぶない時には かけこんで
あぶない目にあつた
時には、すぐ、左のス
テッカーのあるお家に
かけこんでください。



去る七月六日、福西保育園・児童館において第2回ワークショップが行われ、参加させていただきました。今回のテーマは、「みんな

で保育園・児童館を考えたよ」ということで、実際に保育園・児童館を保育さんや児童館関係職員の方々の説明を受けながら、子どもの立場になって、ウォークラリーをしました。

吹抜けになった広いホール、子どもたちからもよく見える調理室、そこで毎日給食やおやつは手づくりし

ておられるのか。何かホッとできる遊び場があるなど、色々なお話を伺い、走り回る子どもたちの笑顔を思い浮かべました。

桂坂保育園・児童館の整備計画 ワークショップに参加して

ぼぶら自治会 浅田 泰子

室では、実際に椅子に坐ってみました。

また、この夏一番の暑さにもめげず、園庭に出て遊具や砂場とは別に泥団子の

第一回 ワークショップ 和気あいあいに進む話し合いの中から

報告

「みんなで交流し、子育ての現状を確認しよう」のテーマで開かれた第一回「ワークショップ」では、五つのグループごとに色々な話が出ました。「子育ての問題点」や提言は、保育園・児童館の建設とその後の運営に活かされるはずで

「参加者全員が主役」となって出された意見・考え方を幾つか紹介します。

子どもの姿・現況
遊ぶ機会がないために、遊び仲間が少なく、また、遊び方も知らない。子ども同士では「遊びの関係」が作れず、複数でも異年齢でも遊べない。
子ども同士で遊び、成長する場、どろんこ遊び・虫採りなど自然と関わる場が

を出しておられました。今回私は、子連れでの参加でしたが、託児もしていたので、4歳の息子が施設内で楽しく過ごせたこと、大へん喜んでおり、感謝しております。

さて、次回は、桂坂の建設予定地に行き、どんな施設が作りたいかを、子どもワークショップの成果も含め、話し合う予定です。

その後、グループ討議に入り、この疑似体験の感想や施設に対することなどを話し合い、思いを桂坂に置き換え、皆さん活発に意見

ない。また、勉強やお稽古事が忙しく、時間が無い。大人・親としては、自分で考えて行動できるとともに相手の気持ちを思いやれる人間味のある子どもであってほしいし、六歳までは人格形成の面で大切な時期、感性を育てる保育にも配慮してほしい。子どもの経験を豊かにできる地域づくりも必要。

「桂坂」の新保育所
そして児童館は、異年齢の児童同士が関わり合い、障害児・老若男女との交流も可能であり、誰でも気軽に利用できるところ。そして、地域に開かれた施設としてコミュニティの、また、子育て情報の発信基地・拠点でもある。

具体的には、
保育園と児童館の合築というメリットを活かした建物。広い園庭、井戸端会議のできるサロン、コンサー

その後、今年より寝たきりの方、及び、ひとり暮らし・高齢者世帯の方々の「ふとんクリーニングサービス」をおこないます。

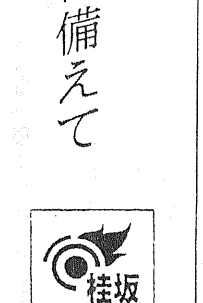
日頃は何かとご協力・ご支援を賜り心より御礼申し上げます。

六月に開催致しました手話講座も好評のうちに終了致しました。次回は九月に開催致します。皆様ふるって御参加下さいますよう、お待ちしております。

さて、今年より寝たきりの方、及び、ひとり暮らし・高齢者世帯の方々の「ふとんクリーニングサービス」をおこないます。

「防災研修」体験記

いざというときに備えて



自主防災訓練の企画、実行でお世話になりました役員の皆様にはありがとうございました。防災センターの職員の方々のていねいで熱心なお話しを聞くことができ、本当に良かったと思います。もう一度是非、今度は子供たちと一緒に、体験してみようと思っております。

防災センターで
老人体験
市民防災センターでの色々な体験は初めての事ばかりだったので、楽しみながらゲーム感覚でやらせていただきました。

特に興味深かったのは、プロテクターを付けての老人体験でした。実際にプロテクターを付けて階段、台所、お風呂、トイレを使ってみましたが、予想以上に大変でした。そして何十年後の自分達のことを考えさせられる1日でした。

西村 律子
「防災訓練」
主婦暦十二年。その間、いつも台所の隅に鎮座、小さいくせに威圧感を持って私を監視する存在——消火器。幸か不幸か使い方を把握していません。出来あがったふとんは、その日の夕方七時頃までにお届けいたします。

握していません。その不安をずっと抱えていました。この度、自主防災会主催の防災訓練で、実際に使えるというので参加しました。

平成七年。奇しくもあの阪神大震災と同年に設立された市民防災センター。ロビーはまるでホテルのような吹き抜けです。

一、消火訓練——壁一面の大きなTV画面の中で、火事発生映像。それに向かって、実際に消火器を使って水をかけます。

二、避難訓練——ホテルで火事発生。ハンカチを口にあて真つ暗な廊下を誘導灯を頼りに進みます。

自主防災訓練の企画、実行でお世話になりました役員の皆様にはありがとうございました。

いざというときに備えて

桂坂

いざというとき、知って

いざというとき、知って

文化

ふれあい会館
教養講座

- 田村其岩講座
開催日 八月四日 九月一日
- 会場 ふれあいの里 保養研修センター
- 募集人員 二〇名
- 受講料 九〇〇円 (全9回分)
- 講師 加納明生氏 (関西棋院二段)
- 対象 満六〇歳以上の方
- 持参品 筆記用具
- 申込 保養研修センター
- TEL: 090-4664-4664 FAX: 090-4664-4664
- 担当 岩本・森・藪田

花の木ラウンジ
8月の催し